

授業科目	欧米観光文化地理 I				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	TO21406J		
開講年次	3・4年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP3-1			
担当教員	友原 嘉彦							
授業概要	この科目では日本人のみならず世界的に人気の高い観光地を多く抱えている西欧について、観光のあり方を学ぶ。人は西欧の観光地にどのようなことを期待し、どのような観光地に惹かれるのであろうか。観光に注力している国や地域、都市を取り上げ、観光者のニーズや観光地の売り(観光資源)について探っていく。							
学生が達成すべき行動目標	西欧の観光のあり方、端的には域内の観光資源の特徴と各観光地の取り組みについて、これまでに修めた観光学の基礎的知識を活かしながら理解することができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	40	0	40	0	0	20	100	
知識・理解 (DP1-1)	15		10				25	
知識・理解 (DP1-2)	15		10				25	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)	10		20			20	50	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
西欧の観光のあり方について十分に理解できている。				西欧の観光のあり方について理解できている。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	・ガイドンス ・観光地としての西欧の概観			講義		復習		60

2	パリ	講義	復習	60
3	ロンドン	講義	復習	60
4	オランダとベルギー	講義	復習	60
5	北欧	講義	復習	60
6	ドイツ旧連邦州 1(概要、北部)	講義	復習	60
7	ドイツ旧連邦州 2(中部、南部)	講義	復習	60
8	ウィーン	講義	復習	60
9	オーストリア	講義	復習	60
10	ローマ	講義	復習	60
11	イタリア、リヒテンシュタイン、サンマリノ	講義	復習	60
12	スペイン、ポルトガル、英領ジブラルタル	講義	復習	60
13	ギリシャ	講義	復習	60
14	イスタンブール	講義	復習	60
15	トルコと北キプロス	講義	復習	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				

27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	日頃より西欧を取り上げた紀行や旅行映画、旅行マンガ、写真集などに触れておくことが望ましい。			
テキスト	レジュメを配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・寺阪昭信（2009）『大学テキスト 観光地理学—世界と日本の都市と観光』、古今書院、2600 円＋税 ・各種ガイドブック『ヨーロッパ』 			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	外国を知ることは自国を知ることに繋がります。この科目を受講して、ぜひいつか西欧に行ってみてください。			
達成度評価に関するコメント	<p>集客力を有する観光先進地としての西欧について多角的に学んでいきましょう。より理解が進むよう視覚的にも工夫します。</p> <p>達成度評価の「そのほか」とは、授業への参加・貢献度です。単に出席しているだけでなく、（意義のある）意見を発言してくれたり、過ぎた講義回での項目について復習していることで簡潔にまとめて説明してくれたり、といったことが得点の増加に関係します。一方、これらが不十分なだけでなく、授業を中断せざるをえないほどの声量で授業とは無関係のことについてしゃべっているなどした場合は得点の減少に繋がります。</p>			